



広報資料

問い合わせ先

第一管区海上保安本部 警備救難部

救難課長 菊地 誠

TEL 0134-27-0118 (内線 3250)

新造巡視船れぶんの進水について

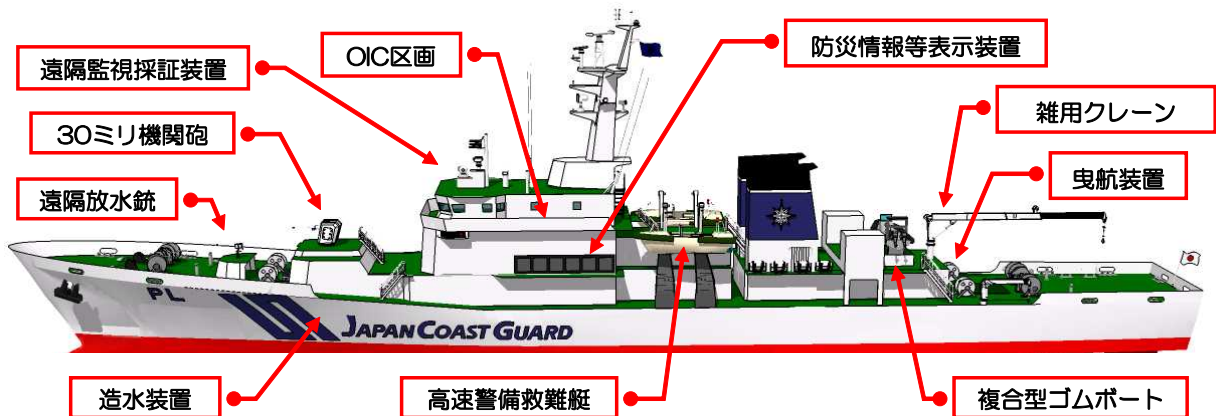
～災害対応能力の強化、当管区へ31年ぶりの新造大型巡視船配備～

稚内海上保安部に1,000トン型巡視船が今年度内に配属されることが決定し、6月25日進水予定です。船名は「れぶん」と命名されることとなっています。

同船は、大規模災害発生時において、広域的な救助活動や被災者支援活動を迅速に実施するため、災害対応能力の強化が図られています。

なお、当管区に1,000トン型以上の新造巡視船が配備されるのは、31年振りとなります。

災害対応能力等を強化した1,000トン型巡視船



	(現) 巡視船れぶん	新造船
主要目	全長 78.0m 幅 9.6m 深さ 5.3m 総トン数 980トン (※)	全長 約 92.0m 幅 約 11.0m 深さ 約 5.0m 総トン数 約1,250トン (※)
高速性		高速化
監視能力	目視 (夜間は対応能力低下)	遠隔監視探証装置の搭載 (夜間も対応可能)
制圧能力	精密な射撃は困難 (手動式)	精密な射撃が可能 (自動式)
情報収集・分析能力	運航要員が兼務	専従要員を配置予定 (運用司令科等)
災害対応能力		災害対応設備の充実、曳航能力の強化
荒天下航行能力		大型化により、安定性が向上 (波高5～8mでも航行可能)

(※) 巡視船れぶんは旧測度法 (新測度法では680トン)、新造船は新測度法による。